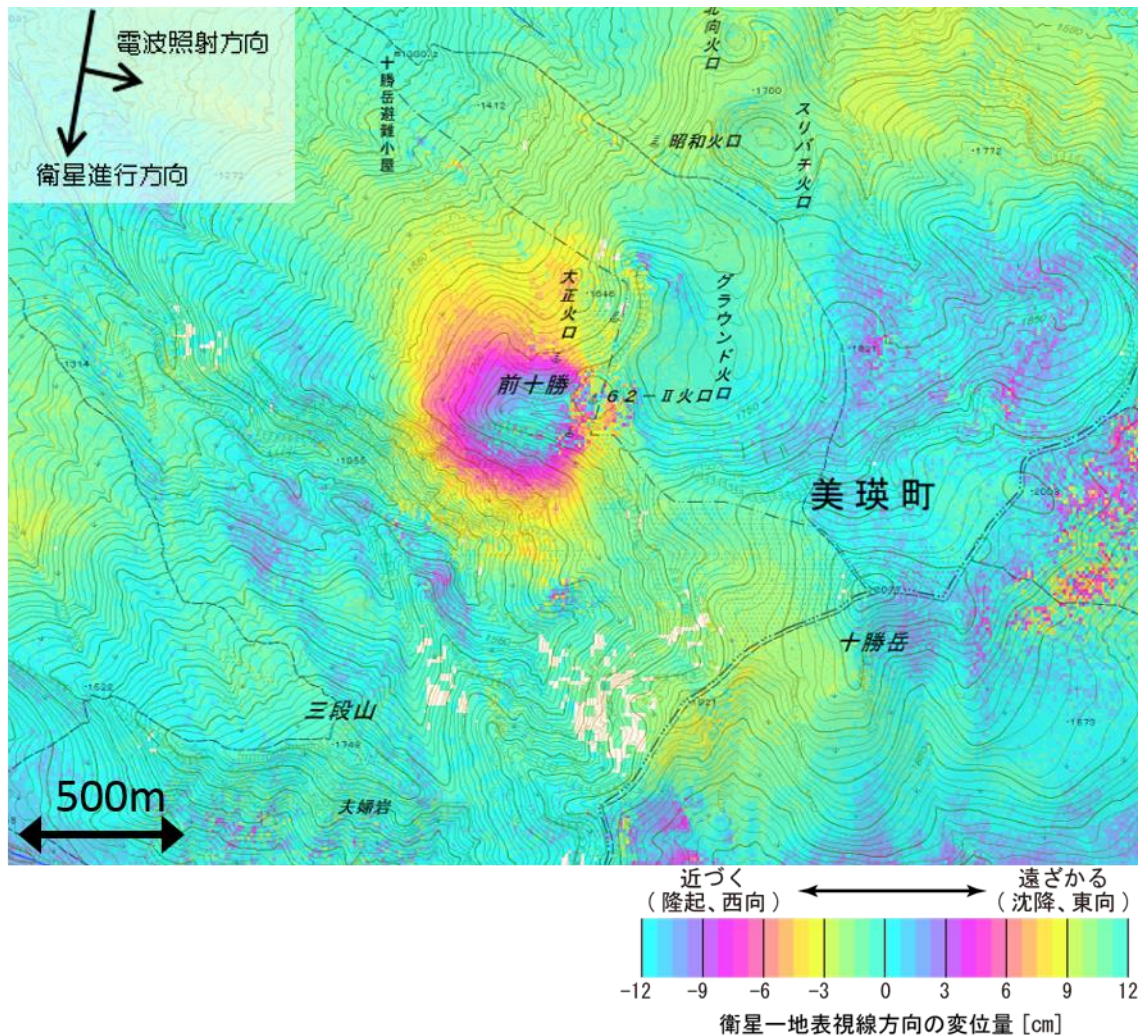


## 「だいち2号」観測データの解析による十勝岳周辺の地殻変動

十勝岳の 62-II 火口付近の直径 1km 程度の範囲で衛星に近づく地殻変動が検出されました。



図： 2014年8月30日～2015年8月15日の解析結果

### ＜解析結果からわかること＞

- ・ 2014年8月30日と2015年8月15日のデータを用いて解析を行いました（解析期間：約1年間）。
- ・ 62-II火口西側の直径1km程度の範囲で最大12cm程度\*の衛星に近づく地殻変動が見られます。この変動は、地下の浅い所での膨張をとらえている可能性があります。これまでGNSS観測により62-II火口周辺の地殻変動が報告されており、その結果と整合的です。

※ 干渉SARの精度は一般的には数cm程度とされています。また、衛星の観測条件が異なる場合、同じ地殻変動であっても、解析結果の見え方に違いが生じます。

今回の結果は速報であり、より詳細な分析等により、今後内容が更新されることがあります。国土地理院では今後も継続的に地殻変動を監視していきます。